

伊保内高校学校通信

伊高だより 1月号



明 朗 ・ 創 造 ・ 努 力

編集・発行／岩手県立伊保内高等学校
〒028-6502 岩手県九戸郡九戸村伊保内1-61-12
TEL(0195)42-3121(事務室) 42-3122(職員室)
<http://www2.iwate-ed.jp/ibn-h/>

特 集 九戸村地域子ども読書会

1月6日(九戸村内8ヶ所)

1月6日に、村内児童施設8か所において村内児童220名を対象に「九戸村地域子ども読書会」が開催されました。昭和55年より今年で43回目となるこの会は、企画・運営を本校全体として取り組んでいます。以前は、就職内定の女子生徒のボランティアから始まったようですが、現在は1・2年生全員が対象です。8月の後半から半年間、事前学習10回、事後指導2回をLHRの時間に、他に放課後や長期休業時にもグループ毎に主体的に取り組んできました。当日は、ペープサート(宮沢賢治のお話)、紙芝居、絵本の朗読等練習の成果を発揮することができました。

長年読書会を継続して取り組むことにより、読書がもたらすさまざまな可能性を実証し、今まで数々の賞を受賞しています。地元の民話や賢治作品を題材にすることにより郷土愛が育まれ、小学生と高校生の絆が生まれ、かつて読書会に参加した児童が高校生となり企画・運営に回り、更に親となり子供と参加することにより読書力の涵養へと繋がり、かけがえのないふるさとを形成する一翼を担っています。一連の活動を通して、皆で読書する楽しさを共感できることは一生の財産となることでしょう。

昭和50年代にボランティアとして参加した女子生徒が、おばあちゃんとなり親子孫三代でこの読書会に参加する日もそう遠くないことでしょう。本校の大切にしたい行事のひとつとして末永く続くことを望みます。生徒の感想を紹介します。

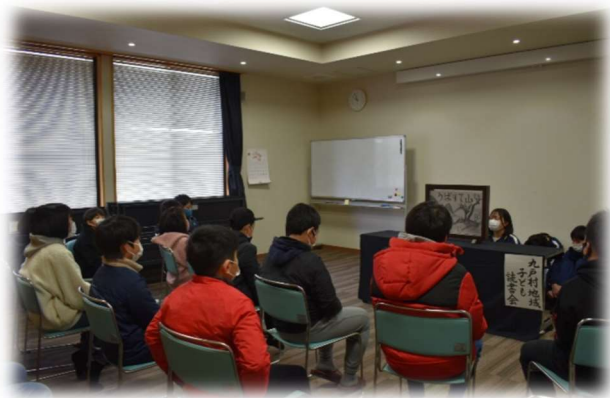
今回初めての読み聞かせをしてみて、ただ音読のように読むのではなく聞いている小学生に場面を想像させるような読み方をするのを学びました。例えば、声を役に合わせて低くしてみたり読むスピードを遅くしてみたりしました。私は小学生の時に高校のみなさんが読み聞かせをしていただいて楽しかった記憶がとてもあるので自分が高校生になり、小学生のみなさんに同じ気持ちをあじあわせることができて良かったです。(1年・中野 結友)

今回の読書会ははじめての経験で緊張したけどしっかり読みきることができました。準備期間はペープサートに動きをつけたり読み方を工夫しようとしたりするとかんでしまうなどもあったけど、楽しんで練習することができたと思います。直前で紙芝居が変わって当日が2回目ということで練習不足ではあったけれど、あまり間違いもなく無事に終わられて良かったです。小学生の時は読み聞かせをしてもらった側だったのでする側の大変さも知る機会になって良かったです。(1年・野辺地 裕那)

今まで読み聞かせをしてもらった側だったので今回読み聞かせをする側になって新鮮でした。私たちのグループは準備の途中で配役を変えたり、読む紙芝居を分かりやすいものに変えたりといろいろ工夫しました。その分大変なことも多かったけど最初よりは成長して読み聞かせることができたと思います。前までは読み聞かせの後にゲームとかもしていたので少しさびしかったなと思います。でも当日みんなで楽しく読書会を終えることができて良かったです。来年の読書会ではもっと伝わりやすいようにセリフを読めるよう頑張りたいです。(1年・宮川 知優良)

2年目の読書会で、昨年以上に、声の出や、表情など、前回以上に良くなっていた。そのおかげか、子どもたちにすごくよこばれて、自分達もすごくうれしかった。今回で、読書会は終わりだけど、自分は、保育士を目指す上で大切なものを知るキッカケになったので、大切にしていきたい。また、子ども達に本を読んでもらうキッカケになったら、自分たちもやって良かったと思う読書会なのではないかと思った。(2年・秋元 海州)

1年ぶりの地域子ども読書会で少し緊張した。子供たちの前で読み聞かせをすると、ゆっくり読まなければいけないのでとても意識した。練習では、できなかったところや、工夫しなければいけないところを本番では、できていたので良かった。子供たちは、真剣に聞いていたので読みやすかった。読書会を通して本を好きになってくれたらいいなと感じた。(2年・久保田 瑠晟)



まさぎね館



銀杏会館



江刺家ふるさとセンター



戸田老人福祉センター



山根小学校



山村開発センター



南田コミュニティ消防センター



妻の神集落センター